

平成23年度 第1回福島町総合開発審議会

開催日	平成23年5月30日（月） 開会午後6時			
総合開発審議会 出席委員（12名）	笈川和明、阿部國男、小笠原幸助、木村末正、佐々木祥代、住吉数雄、塚本謙也、鶴間弘幸、堀繁子、村山和治、山名連、吉村次郎 （五十音順）			
欠席者（4名）	久野寿一、中塚徹朗、平沼竜平、要田東			
事務局	副 町 長	竹下 泰弘	企画 G 参事	鳴海 清春
	企画 G 総括主査	住吉 英之	企画 G 主事	中塚 雅史

（開会 午後6時）

○事務局

それでは、みなさんご苦労様でございます。本日は何かとお忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。定刻になりましたので只今から平成23年度第1回目の福島町総合開発審議会を開催したいと思います。この後の進行につきましては会長の方に、議長をお願いしたいと思いますので会長、よろしく願いいたします。

○会長

それでは、改めましてお晩でございます。本日は大変お忙しいところご苦労様でございます。

本日の案件でございますけれども、低迷している町内の経済を打開するため、この度福島町商工会により「プレミアム付商品券」発行事業に対する財政支援の要請がなされたことから、町

においては、当該事業を支援するため第4次福島町総合開発計画後期実施計画を変更するというところであります。

そのことについて、みなさんからご意見をいただきたいと思っております。

続きまして、会議次第の2番でございますけれども、副町長にごあいさつをお願いいたします。

○副町長

どうも、ご苦労様でございます。本来、町長がご挨拶を申し上げるところでしたが、函館の病院の方に検査入院ということでございますので、私が変わって、挨拶を申し上げたいと思っております。

委員の皆様におかれましては何かとお忙しい中、本日の審議会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

今年度の最初の審議会でございますけれども、委員の皆様は8月までで、これが最後の会議になろうかと思っております。

委員の皆様におかれましては、平成22年度からの後期実施計画の策定にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

お陰様で今日の資料にもありますように開発計画を基盤として町の財政は、順調に推移しております。

本日は、先般、福島町商工会から要望を受けて「プレミアム付商品券」の発行に対する町の支援事業に関してご審議をお願いするものでございます。

東日本大震災や福島原発の問題が日本経済を大きく動かしております。

地元商店街の影響も懸念されてございます。

そのような状況から町としても支援するために後期実施計画の変更をするものでございます。

この後担当から説明させますので、よろしくご審議のほどお願いいたします。

○会長

ありがとうございます。本日の会議の出席者は、委員16名中12名の出席で半数以上の出席がありますので条例第6条第2項の規定に基づきまして会議が成立していることを宣言します。

それでは議案の第1号、次第の3

議案第1号の第4次福島町総合開発計画の変更について、を議題といたします。

事務局、説明を願います。

○事務局

どうもご苦勞様でございます。

それでは、議案の1ページの議案第1号を説明したいと思います。「第4次福島町総合開発計画の変更について」であります。

まず1の変更の目的につきましては、全国的な景気の低迷が続く中で当町における消費の動向は、地元消費者の減少や町外への消費購買力の良質も加わりまして、地元商工業者の売り上げ減少になかなか歯止めがかかっていない状況であり、東日本大震災の影響を受けて全国的にも自粛ムードが追討ちをかけており、一向に上向かない状況といえます。

このような状況の中、町内の低迷する経済の状況を打開する目的で福島町商工会から5月9日「プレミアム付商品券」の発行に対する財政支援の要望書の提出があったところでございます。

町としましては、この要望を受けて住民還元及び地元消費拡大を図るために福島町商工会のプレミアム付商品券発行事業を支援するため「第4次福島町総合開発計画後期実施計画」を変更するものであります。

2番目の後期実施計画22年～26年の変更について、でございます。平成22年度の3月会議で議決されてお

りまず後期実施計画に、この度事業費を900万円追加いたしまして、総事業費を33億6,289万1千円に変更するものでございます。

財源の内訳についてですが、過疎債を活用することができますので過疎債を充当することとして地方債に900万円追加し13億681万8千円に変更するものでございます。

「(1)の総事業費等の変更について」でございます。全体の事業費と財源内訳等を変更前・変更後で比較したのになってございます。

表の下にあります※印ですが、ここは間違えましたので削除をお願いします。皆様の方に第4次福島町総合開発計画後期実施計画の23年6月改訂版といったものが配布されていますが、これは今回の変更を含めた実施計画の全てということになってございます。

続きまして、2ページをお願いしたいと思います。

「(2)変更の内容について」でございます。

プレミアム付商品券発行事業は、実施計画において地域経済消費拡大活性化事業として掲載をしてございます。

変更前は、平成22年度で先に900万円の事業ということで実施されておりましたが、今回平成23年度に同額を追加し全体の事業費を1,800万円と変更するものでございます。

先ほども説明いたしましたが、財源につきましては、平成22年度同様全

額を過疎債に追加する予定でございますので、地方債が今回の変更によりまして1,800万円に変更するものであります。

なお、今回の変更につきましては、6月の議会に総合開発計画の変更ということで議案を提出し議決をいただくということとしてございます。

3ページをお願いしたいと思います。

「(3)プレミアム付商品券発行事業計画について」でございます。

プレミアム付商品券につきましては、昨年度も実施してございます。

昨年実施した事業と今年度予定の事業の比較をしてございます。

先に資料の修正をさせていただきます。区分の有効期間の欄でございますが、平成23年度の欄ですが平成22年度の欄と同じ内容になってございますので、ここの訂正をしていただきたいと思えます。

平成23年度の欄の「平成23年7月14日～平成23年9月30日まで」に修正をお願いしたいと思います。

まず昨年度につきましては、使用期間ということで年末年始にプレミアム付商品券を使用できる期間でしたが、今年度におきましては、商品券の使用時期がお盆期間という設定をさせていただきます。それから購入限度額についてですが、1世帯3組までで購入者の負担額は3万円ということになります。商品券の額は39,000円でプレミアム率が30%ということになっております。

昨年度と比較しまして、1世帯2組までの2万円ということになっていましたが、1万円が増えまして商品券額も13,000円の増額ということになります。

取扱範囲ですが昨年はプレミアム付商品券の申し込みがあった商工会員の所だけ使えるということになってございましたが、今回は商工会会員の全てのお店で使用できるということになってございます。

次に、下の欄の「(4) プレミアム付商品券発行事業の実績状況について」でございます。

平成20年度と昨年度に実施した事業を比べてございます。

平成20年度の発行状況の欄をご覧ください。

平成20年度は42,000千円が発行され、使用状況としましては、100%使用されてございます。

平成22年度につきましては、33,033千円が発行されまして、その全てが使用されてございます。

約3ヶ月の間にこれだけの金額が町内で消費されたということになります。

以上で第4次福島町総合開発計画の変更について説明を終わります。

よろしくお願ひしたいと思ひます。

○会長

ありがとうございます。事務局からの説明が終わりました。

これより皆様から質疑を受けたいと思ひます。質疑ございませぬか？

○委員

この資料を見ると約50%が石油・燃料とありますから、石油燃料店へ効果があったということですよ？

○会長

過去2回は、冬の期間にやっていたので燃料等への使用が多かったか思われます。

今回は、夏場にやってもらいたいという意見があり夏場にしました。

○会長

今、油が値上がりしていますので6月議会で認めてもらいましたら、昆布の養殖の人は助かるのではないかなと思ひます。

天気がいいときでも乾かすのにボイラーで乾かさないとダメですからね。

○委員

前にやった時は、地デジの買い換えに貢献できたみたいで。エコポイントが少なくなるということだったので。

夏場だけでも喜んでくれるのでないだろうか。

○委員

ちょっと質問していいですか？

○会長

はい。

○委員

前回の時に、2万円で売れることはわかったと思います。みんな2万円買っていたのか？中には1万円だとかそういう人もいたのですか？

だいたい、みんな2万円ですか？

金額が上がることによって3万円買う人は、3万円分を買う人もいるのだけれども、仮にそれが5千円とか1万円しか買えない人が出てきた時に買いにくくなる部分というのは考えられませんか？

救済するというのは、ある程度お金の余裕がない人を救済してあげるといふ部分もあると思います。

消費するばかりでなく、そういう人達を救済してあげるといふ意味もあると思います。

3万円だったら買えないと考える人もいますから、下は1万円から上は3万円までという謳い方をして、もう少し買いやすくしてあげた方がいいと思います。

○委員

それは、過去2回やった経験で3万円だと需要は取れません。

○委員

3万円でいいと言う人は、3万円を出せる人です。

○事務局

〇〇さんが言うのは、1万円でも買った人はいるのかということですよ？

○委員

要は、買いやすくするために謳い方をもう少し考えてあげた方がいいと思います。

3万円までとなると、どうしても3万円買わないと駄目だと思う人もいます。

○事務局

3ページの表を見てもらうと、20年と22年で20年は100%完売できました。22年については、色々方策も悪かったのか、追加販売もしなかった経緯もあり100%まで至っていません。

だから今回は、そういった反省を踏まえて商工会の方もやり方を多少変えています。

町で助成する以上、100%やってほしいという思いがあります。

補助事業者として、町の方からも今日のような意見があったことを商工会の方に報告してお願いをしたいと思っております。

○委員

去年で1万円買ったという人がいますか？

○委員

いるのだろうけども、買いやすくするためにそういうふうに謳った方がいいと言っています。

3万円だと、なかなか買いにくくなる部分もあるかもわからないから。

○委員

3万円までだから、3万円と決めていないので、1万~3万円ということですよ。

○委員

だから、そうやって謳ってあげれば買いやすいのかなという意見であって、3万円が駄目だということではないです。

○委員

要するに、買いやすくしてほしいということですね。

今回は1万円に対して、1万3千円ですよ。

前は、7千円買って1万円でなかったですか？

その時は、ものすごく買い易かったです。

7千円を出すのと、1万円出すというのは、やはり75歳、80歳くらいの年齢の方は、「どういう事ですか？」と言います。

「1万円買うと、1万3千円になります。灯油も買えるし色々買える。」ということで、私なりに説明をしたら、「2万円まで買えるならだけど、1万円だけ買うかな」という方もいました。前は、7千円買って1万円だったから、7千円は、出し易かったみたいです。

○委員

例えば、6月になったら年金が出て用意するという人いますから、早めに実施した方がいいと思います。

○委員

6月議会に提案するので6月は間に合いません。

○委員

間に合わないけど、決まったらすぐこういうことがあるということを知らせてください。

○事務局

今のところ、6月の議会が14日ですからそれ以降に進めていただければと思います。

○委員

本当は、年金生活者だとかそういう人をまず優先にするのが本当だろうと思います。

○委員

捉え方によって、売り方と買い方が違うわけです。

要するに買い易くするということは、3割も違うわけですから低所得者を救済する部分もあるし、しかし、町が低迷しているから弾みをつけるために3割減でもって買ってもらうと、買う側と買ってもらう側と、違う部分があります。

○委員

言っていることは、わかります。ただとにかく買い易くしてあげてほしいということですね。

○委員

これは、どうしても7月14日となってしまうのですか？

○事務局

商品券の印刷だとか、そういうのもやはり予算が決まってからでないと発注できません。

○委員

先ほど話していましたが、年金者が買うとなれば、8月15日にならないと年金が入りません。

有効期間が9月30日となるとすぐ買ったとしても1ヶ月ちょっとしかないわけです。

だから買えない人も出てくるのではないかなという気がします。

○委員

この表を見ますと、これは冬の時期に発行したものであって燃料店に半分使ってしまっています。

だけど、今回は夏場であるということは、石油にここまで入らないですよ？

そしたら、下の方の他の商店へのパーセントが上がってくればいいですけど、前回を見ると燃料店に半分が行ってしまったという格好ですよ。不公平といったら変ですけども。

○委員

やっぱり買い手の側は、石油が1番ですよ。

私は、商売やっていてもそうですけ

ども昆布やっている人なんかはかなり油を使うと思います。

そうすると、どうしても油の方になってしまうのでこれは仕方ないと思います。

○委員

仮にプレミアム付商品券を使うことによって、それを持って来た人は、1割引きですとか、そういうことの企業努力はしているのですか？

○委員

前回、利用する商店は、2%工賃を取られました。

2%じゃマイナスになってしまいます。

だから今回は1%で、後の1%は商工会で負担します。

○委員

油とか米とか味噌汁にいくのだったら、これはいいと思います。

今景気が悪いですから、しっかり貯えていかなかつたら暮らしていけません。

○委員

だから、油屋さんで一杯使って貰ったら、自分達も大さじいっぱい使ってあげるといふ考え方になってくれたらいいです。

○会長

只今のプレミアム付商品券の話はよろしいですね？

(はい、という声あり。)

○会長

はい、ありがとうございます。

それでは次に進みます。

4番「その他」で第4次福島町総合開発計画の変更に対して特に意見等が無いようであれば、議案第1号について、議案どおり承認したということでございます。

それでは、その他の財政調整基金の状況について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局

それでは、4点目のその他に関して説明をさせていただきます。

資料の4ページをお願いしたいと思います。まず「(1)の財政調整基金の状況について」ですが、平成18年1月に策定いたしました福島町自立プランは平成18年～平成21までの計画でございますが、これにおける財政調整基金の残高見込みですが、この当時は、平成18年度が4億5,100万円で平成20年になれば全部積み下ろして赤字が発生するというので、それではいけないということで、皆様にも参画していただきました自立プランにおきまして、様々な行財政改革を断行し、次の表にありますようにまちづくり行財政推進プランという形の中でだいぶ改善が見られています。

平成23年度の計画当初では、8億5,000万円を見込んでおりましたが、変更後では12億3,400万円の積み

立てが出来るまでになってございます。

そして、現在では1番下の表にありますように平成23年4月1日現在になりますが、13億9,700万円の残高を残すまでに財政が改善してございます。

町の平均的な予算規模は、現在30億～33億へ推移してございます。現在の積み立て残高が13億というのは比較的、安定した状況と考えてございます。

ただ、ここ数年は、国の方針として国は地方に対しまして、比較的に手厚い支援ということで地方交付税を三位一体改革で減らした分を戻してきたという経緯がございます。

ただ、ご存知のように国の体制は現在火の車であり、更に東日本大震災の関係で、これから相当な財源を要するということとなります。

今年度あたりから、また地方に対する財政的な締め付けも想定されます。

今後も、総合開発計画の後期実施計画を基盤としながら、より一層の行財政改革に努める必要があると思っております。

続いて(2)番目の「第4次福島町総合開発計画推進検証調書について」皆様のお手元に厚い冊子が配布されていますが、今回は情報提供という形でまずご理解をいただきたいと思っております。

現在、町では各グループに計画の検証をお願いしてございます。

今後、毎年10月に実施してござい

ます、ローリング作業に向けて内容をさらに精査し必要があれば実施計画の変更を加えて参りたいと担当の方では考えてございます。

(閉会 6時30分)

皆様の任期は8月ということになりますけども9月頃から作業を加速し、逐次審議会へお諮りしていきたいと考えてございますので再度また審議委員になられた方は、よろしくご協力をお願いしたいと思っております。

情報提供という形ではございますが何か質問等がございましたら、お答えをしたいと思いますので、よろしくお願ひします。

○会長

はい、ありがとうございました。只今、事務局の説明が終わりました。

何か質疑等がございましたらお願いいたします。

何かございませんか？全体的に何かありませんか？

では、第4次福島町総合開発計画推進検証調書の方も何かありましたらお願いいたします。

無ければ、これで本日の会議を終了したいと思います。よろしいでしょうか？

(はい、という声あり。)

○会長

それでは、大変ありがとうございました。